

# 花き市場における電子取引導入と卸売市場の DX 推進の可能性に関する研究

【代表者】 末永 千絵 島根大学 生物資源科学部 助教

## 【研究の目的と内容】

近年、デジタル技術を活用した社会変革(DX)が政策的に推進されており、農業・食品分野においても、労働力不足への対応策として ICT の活用が進められている。流通分野では、取引の電子化(E コマース、EC)や物流課題への対応を目的として ICT 導入の動きが加速している。

生鮮農水産物の安定供給と公正な価格形成を担ってきた卸売市場は、農林漁業者の所得向上や消費者ニーズへの対応、流通の合理化といった観点から変革が求められており、規制緩和に伴う法改正が段階的に進められてきた。ICT を活用した流通形態は、こうした合理化を推進するモデルとして国からも期待されている。

しかし、青果物流通においては、現在も電話や FAX によるアナログな伝達手段を用いた取引が主流であり、電子化の進展は限定的であると指摘されている。一方、花き市場では、一部の卸売業者が早期に機械セリや EC を企業間取引に導入し、業務のシステム化を進めてきたことが知られている。

本研究では、卸売市場取引の電子化が比較的早くから進展したとされる花き市場を対象に、EC 導入に関する文献調査を中心に行う。具体的には、導入事例とその運用体制を把握し、卸売市場全体における DX 推進の可能性について、予備的な知見を得ることを目的とする。

図は、花き流通における一般的な流通構造を示したものである。

本研究の対象は、花き卸売市場のうち、生産者や集出荷業者、集出荷団体から花きを集荷し、仲卸業者等の買い手に販売する卸売業者である。

卸売業者は、全国に分散し、多様な品種・品目を生産する生産者と、多様化する消費者ニーズとを媒介し、適切な価格形成、安定供給、円滑な代金決済、さらには需給情報の受発信を担う役割がある。

花き、特に切り花は保存が困難であるため、迅速かつ正確な取引が求められる。これらの取引過程を電子化することにより、手作業による負担や情報伝達時のミスを軽減し、業務の効率化が期待される。一方で、機械化・システム化の進展により、システム化が困難な業務領域における課題や、新たな負担が生じる可能性も考えられる。

本研究では、これらに関する文献整理を行い、先進的に EC 導入を進めた花き卸売業者を対象とした既存文献から、その導入実態と運用体制を把握する。

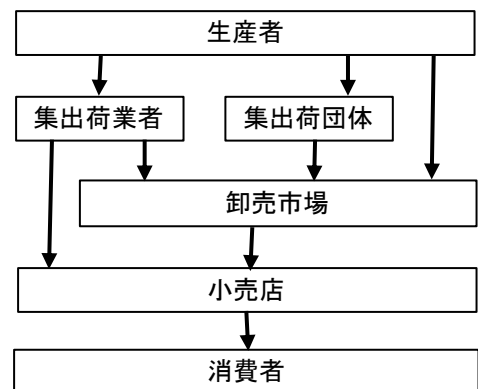


図 花きの流通の仕組み

資料: 東京都HPより著者作成.

## 【研究の成果(本研究によって得られた知見、成果、論文、学会発表、外部資金への応募見込み等)】

花きは従来卸売市場におけるせり取引が中心で、競争入札により価格が決定してきたが、情報化の進展により、機械セリのほか、インターネットを利用した注文取引、セリの実況中継システムなど、様々な情報システムの実験が進められてきた(栗原, 2000)。

このうち機械せりは1991年に日本で初めて導入され、2002年までに全国の花き卸売市場174市場のうち22市場に普及した。22市場の売上合計額は全卸売市場の売上総額は全花き卸売市場売上額の42.6%を占めており、大規模な花き卸売市場への普及が顕著にすすんだ(竹谷・井上, 2004)。

またインターネットを通じた花き小売店への販売は、販売多品種で大量取引を行う卸売市場では取引時間の制約や買い手の市場への移動の問題、遠隔地の小売業者や花店が市場取引に参加しにくい問題への対応として、市場に入荷した花きの情報や画像をインターネット上に公開し、買い手が遠隔地から商品を確認して注文できるシステムが開発されてきた(菱沼・氏福, 2004)。

機械セリの導入は、これまで相場を買い支えてきた大手買い請け人の相場形成機能や相場緩衝機能の役割の低下の問題の指摘がある一方(井上・竹谷, 2004), 機械セリシステムの導入により、取引時間の短縮、公正性、公平性が著しく高まったと評価もある(内藤, 2023)。ただし検品が難しく、品質保証のあり方が課題とされている。

本研究により、東京・大阪などの大消費地卸売市場を中心に、1990年代以降の機械セリおよび2000年代以降のインターネット販売の普及過程と、機械化・電子化に伴う体制変化の一端を把握することができた。今後は、これらの文献調査の成果を踏まえ、関係主体間の調整過程やシステム普及の条件について、より詳細な検討を実施の上、学会発表並びに科研費の応募を目指していきたい。

#### 引用文献

栗原伸一(2000)「花卉市場における情報化とマーケット・デザイン」電気通信普及財団研究調査報告書 15-20

菱沼英輔・氏福誠治(2004)「花きインターネット取引システム」JFE 技報 3,48-52

井上守・竹谷裕之(2004)「花き卸売市場におけるセリ方法の考察—「機械セリ」の評価を中心に—」『農業市場研究』13(1)1-8

内藤重之(2023)「花き卸売市場における取引改革の経緯とその影響」『農業市場研究』32(2)26-34